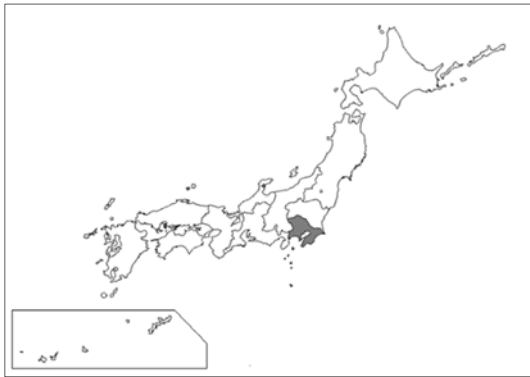


(4) 南 関 東



南関東地域では、景気は一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。

- ・ 鉱工業生産は持ち直しの動きに足踏みがみられる。
- ・ 個人消費は緩やかに持ち直している。
- ・ 雇用情勢は持ち直している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す (は上方に変更、 は下方に変更)。

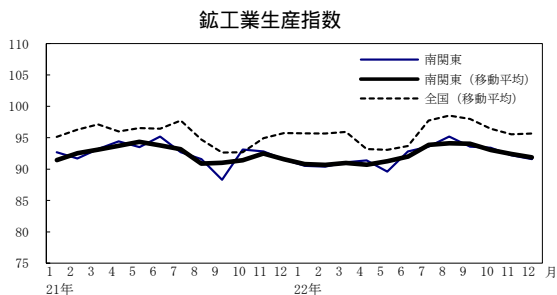
前回からの主要変更点

	前回 (令和4年11月)	今回 (令和5年3月)
景況判断	緩やかに持ち直している	一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している
鉱工業生産	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きに足踏みがみられる

1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産は持ち直しの動きに足踏みがみられる。

10-12 月期の鉱工業生産は、「汎・生産・業務用機械」が減少したこと等により、前期比 1.8% 減となった。



- (備考) 1. 2015年=100、季節調整値。南関東の最新月は速報値。
 2. 全国及び南関東の太線は中心3か月移動平均。直近月は2か月平均。
 3. 南関東は内閣府にて算出。

域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		7-9 月期	10-12 月期	10月	11月	12月
石油・石炭、化学、プラ製品	22.2	1.2	▲1.3	2.3	▲1.3	▲1.5
輸送機械	14.1	4.9	4.1	9.1	▲2.3	0.2
汎・生産・業務用機械	13.7	6.1	▲6.4	▲4.9	▲2.3	▲1.0
電子デバ、電気・情報通信	12.6	6.9	▲2.1	▲0.3	▲3.3	1.7
食料品・たばこ	12.4	3.1	—	▲3.8	1.4	—
鉱工業	100.0	3.1	▲1.8	▲0.2	▲1.3	▲0.7

- (備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。
 2. 10-12 月期、12 月は速報値。速報値において化学は医薬品を除いたもの、食料品・たばこは公表されていない。
 3. 業種は内閣府にて分類。

2. 個人消費の動向

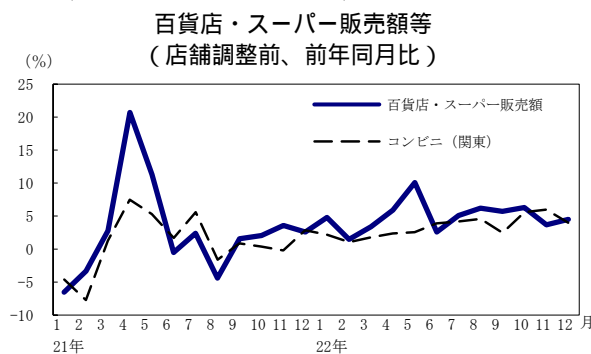
個人消費は緩やかに持ち直している。

(1) 地域別消費総合指数 (RDE I (消費))

10-12月期は前期比0.5%増となった。月別にみると、10月は前月比0.7%増、11月は同0.8%減、12月は同0.1%減となった。

(2) 百貨店・スーパー販売額

百貨店・スーパーは、10-12月期は前年同期比4.8%増となった。月別にみると、10月は前年同月比6.3%増、11月は同3.7%増、12月は同4.5%増となった。



	2022年10-12月	2022年10月	11月	12月
RDE I (消費*1)	0.5	0.7	▲0.8	▲0.1
百貨店・スーパー(*2)	4.8	6.3	3.7	4.5
コンビニ(*3)	5.1	5.6	6.0	4.0
乗用車(*4)	10.6	26.3	7.6	0.7
(季節調整値)(*4)	8.1	15.5	▲4.6	▲5.0

(備考) 1. 季節調整前(前期)比 (%)

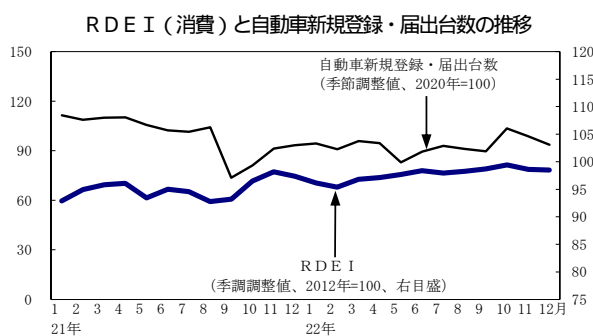
2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

百貨店・スーパーは内閣府にて算出。

3. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

コンビニは、経済産業省の関東(茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野、静岡)の値。

4. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))



3. 雇用情勢

雇用情勢は持ち直している。

有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前期と同水準となっている。

